協会だより

No.162
平成25年11月発行

火災予防駅伝（秩父消防署）

「消すまでは　心の警報　ONのまま」

【平成25年度 全国統一防火標語】

編集・発行／秩父防火安全協会（秩父消防本部内）TEL.0494(21)0121

「災害の無い、安心安全な秩父をめざして」

秩父消防本部
消防長　**若　林　利　忠**

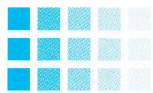
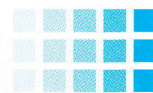
最近温暖化の影響による異常気象なのか、日本の各地で集中豪雨、土砂崩れ、竜巻等の自然災害が発生し、大きな被害が発生しています。また、最近特に心配なのが、南海トラフ巨大地震、東海地震等の大規模地震の発生と言われ、国の検討会議では被害想定や防災対策の検討結果の最終報告書をまとめています。インターネット等でその被害想定は確認できますが、実際に発生した場合を考えるとどのくらいの被害になるのか、どのくらい経済が混乱するか、東日本大震災の記憶が重なってきて、想像しただけでも背筋が寒くなってまいります。

我々の住む埼玉県はその発生地から離れてはいますが、離れているから安心だとも言っていられないようです。埼玉県では現在発生確率の高い東京湾北部地震や茨城県南部地震の被害想定をまとめる作業を行っているところですが、その推定震度は大きいところでは、震度６強にもなると予想しているのです。

秩父地域に限って言えば、今年は幸い自然災害の被害はほとんど発生してはいませんが、災害はいつどこで起きてもおかしくないといわれていますので、いざという時に自分の命を守る的確な行動がとれますよう、普段からの訓練や防災情報に関心を持って頂くようお願い申し上げます。また、各事業所さんには、災害対応の計画についてもう一度再確認して頂ければと思います。

災害に対しては、「備えあれば憂いなし」のことわざのとおり、防災、減災に力を入れることが、被害を最小限に食い止め、早い復興を成し遂げることに繋がります。

さて、消防を取り巻く環境は年々大きく変化しており、災害は火災だけでなく、交通事故や山岳救助事案、水難救助事案等、救急需要の増大等があります。また、その災害の内容も複雑多岐にわたり、予想外の事故が発生しています。このような社会環境の変化に対応するためにも、消防組織体制の検討が必要となり、当秩父消防本部は分散する出先機関を統合し、救急隊の専従化や出場体制の強化等を図るために、広域体制発足から40年を迎えた２年前から、７分署ある分署を４分署に統合する事業を行ってきています。今年度は南分署が完成し、来年度は西分署が完成予定で、これにより分署統廃合が完了します。その後は、本署と東西南北の４分署体制で、地域の消防団や防災組織と力を合わせ、秩父地域の住民の生命、身体、財産を守る業務を展開しながら、安心安全で暮らせる秩父地域を目指していきたいと考えております。

なお、私ごとになりますが、４月１日から消防長を拝命させていただきました。まだまだ未熟者でございますが、会員の皆様のご指導をいただきながら、秩父地域の安心安全のために少しでもお役にたてればと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

定例評議員会を開催

平成25年6月5日(水)秩父消防本部4階講堂において、平成25年度定例評議員会が開催され「平成24年度事業報告及び歳入歳出決算報告」及び「平成25年度事業計画及び歳入歳出予算」とも原案どおり、承認可決されました。

また、昨年10月に行われた50周年記念式典の決算報告、並びに(公社)埼玉県危険物安全協会連合会表彰伝達及び本会優良防火管理者等の表彰が行われました。

1　平成24年度決算

項目	金額
歳入決算額	2,728,915円
歳出決算額	2,167,073円
差引残額	561,842円

2　基本財産の積立状況について

項目	金額
前期繰越金	2,780,503円
受取利息	558円
平成24年度積立金	100,000円
合計	**2,881,061円**

3　平成25年度歳出予算内訳

項目	金額
事業費	1,800,000円
会議費	200,000円
事務費	300,000円
負担金	300,000円
積立金	300,000円
予備費	75,842円
歳出合計	**2,975,842円**

4　50周年記念事業について（収入）

項目	金額
積立金	3,942,078円
特別助成金	300,000円
雑収入	497,416円
収入合計	**4,739,494円**

5　50周年記念事業について（支出）

項目	金額
記念品	1,051,800円
記念事業	1,750,000円
祝賀会	948,460円
印刷費	319,855円
会議費	75,265円
通信費	36,885円
謝礼	40,000円
雑費	40,255円
予備費	0円
支出合計	**4,262,520円**

※不用額476,974円については60周年記念行事準備積立金に繰り越します。

埼玉県危険物安全協会連合会長表彰

★優良危険物事業所表彰

・小林商店

★優良危険物取扱者

・JAちちぶ　荒川給油所　　戸澤初雄
・秩父通運株式会社　　山口泰司

★優良普及啓発活動表彰

・鈴木燃料株式会社　　鈴木貴雄

秩父防火安全協会長表彰

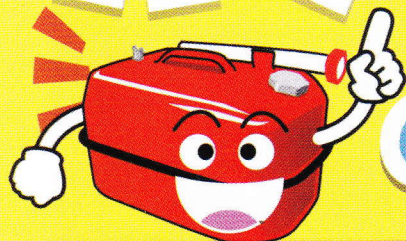
★優良防火管理者表彰

・株式会社ピーアンドディ コンサルティング　　山崎俊明
・株式会社ナチュラルファームシティ 農園ホテル　　深田　賢
・有限会社ミヤモト　　宮本猛治

★感謝状

・前事務局長　　梅澤　茂

きちんと知って確かな安心

ガソリン携行缶(けいこうかん)の正しい使い方

危険性について

ガソリンは気温が−40℃でも気化し小さな火源でも引火し爆発的に燃焼する物質です

軽油は+40℃で気化します

容器について

灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険です

ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています

購入について

セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません

消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください

保管について

ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください

ガソリンは、揮発性が極めて高く火災が発生すると爆発的に広がるので保管時には注意してください

取扱いについて

使用時には取扱説明書をよく読み適正な取扱いをしてください

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告があります

ラベルのついた確かな製品を選びましょう

これが安心の印です

「試験確認済証」

ガソリン携行缶には、使用上の注意事項が表示されています。よく読んで安全にお使いください。

このラベルは、消防法による容器性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。

※写真は試験確認済ガソリン携行缶の商品一例です。

秩父消防本部引揚救助Aチーム 消防救助技術関東地区指導会に出場

引揚救助は5名（要救助者を含む）1組で、2名が空気呼吸器を着装してスタート地点（搭上）より搭下に至り、検索後、要救助者を救出し、他の2名と協力して搭上へ引揚げ、救助及び脱出するまでの安全確実性と所要時間を競う種目となります。

今年から新チームを結成、1月から全国消防救助技術大会出場を目標に訓練を開始しました。訓練開始当初は息が合わず、試行錯誤を繰り返す状況でありましたが、訓練を重ねるごとにチーム力が向上し、県大会で上位入賞が狙えるチームへと成長していきました。

そして、平成25年6月15日(土)さいたま市大宮消防署において、第40回埼玉県消防救助技術指導会が実施されました。埼玉県を4つの地域に分けたブロック大会を勝ち抜いた20チームが関東地区指導会出場4枠を争う激戦の中、3位入賞を果たしこの種目では5年ぶりの関東地区指導会出場権を手にしました。

引き続き、平成25年7月24日(水)横浜市消防訓練センターで第42回消防救助技術関東地区指導会が実施され、1都9県の引揚救助代表チームが集まる緊迫感の中、本来の実力が発揮できず全国大会出場とはなりませんでした。しかし、新チームで挑んだ関東地区指導会を通じて学んだことは非常に多く、これを活かし、来年こそは全国大会出場を目標に日々精進してまいります。

最後に、訓練に対してご支援、ご協力頂きましたすべての人に感謝し、また訓練を通じて得た体力・技術・精神力を日々の業務に活かし、地域住民皆様の安心と安全を守っていきたいと思います。

最新鋭指揮車配備

秩父消防署（本署）に最新鋭の指揮車が配備され本年3月下旬から運用を開始しました。

この指揮車は各種資機材を搭載し、災害現場において指揮本部を設定し情報収集や広報及び各部隊の指揮統制を行います。火災を始め救助事案など多様化する災害に柔軟な対応が期待できます。

平成25年度秋の火災予防駅伝

11月8日（金）秋の火災予防週間を前に秩父消防職員による火災予防駅伝を実施します。

消防本部を発着点とし各分署を経由し総計距離約70km、秋の秩父路を火災予防を呼びかけながら一本の襷をつなぎます。

沿道で見かけた際はご声援よろしくお願いいたします。

平成25年 秋季火災予防運動

平成25年11月9日（土）
～ 11月15日（金）

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

重点目標

1　住宅防火対策の推進
2　放火火災・連続放火火災防止対策の推進
3　特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
4　製品火災の発生防止に向けた取組の推進
5　多数の観客等が参加する行事に対する火災予防指導等の徹底

住宅防火　いのちを守る7つのポイント　－3つの習慣・4つの対策－

３つの習慣

○寝たばこは、絶対やめる
○ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
○ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

４つの対策

○逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
○寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
○お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器を設置しましたか？

共同住宅、店舗併用住宅の住宅部分等も含め、すべての住宅の寝室に住宅用火災警報器の設置が必要です。

また、寝室が２階以上の階にある場合には、階段の踊り場にも必要となります。

秩父消防本部管内では火災予防条例により、新築住宅では平成18年６月1日から、既存住宅では平成20年６月１日から住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

住宅火災、特に就寝中に火災と気付かず、犠牲となるケースが多く見られます。
逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を必ず設置しましょう。

お問い合わせ先　秩父消防本部　予防課
TEL.21-0121

第27回幼年消防クラブ秩父地区大会開催　秩父地区少年婦人防火委員会

今年も10月17日（木）秩父ミューズパーク野外ステージで、第27回幼年消防クラブ秩父地区大会が行われました。23クラブ604名のクラブ員に対し、火災予防及び防火意識の高揚を図り、防火の輪を大きく広げることができました。当協会は後援団体としてこれに協力しています。

平成25年上半期月別火災統計（秩父広域）

月別	火災件数 建物 全焼	半焼	部分焼	ぼや	林野	車両	その他	合計	り災棟数 全損	半損	小損	死傷者 死者	傷者	焼損面積等 建物・㎡	林野・a	車両・台	損害額（千円） 建物	収容物	その他	合計	り災世帯数 全損	半損	小損	り災者数
1	0	1	0	0	0	0	3	4	0	1	0	0	0	11	0	0	2,610	1	0	2,611	0	0	0	0
2	2	0	1	0	0	1	5	9	3	1	1	0	1	158	26	1	1,443	1,855	28	3,326	0	0	0	0
3	2	0	0	2	5	0	12	21	2	0	3	1	0	246	97	3	17,530	2,102	413	20,045	1	0	2	10
4	0	1	0	0	0	0	3	4	0	1	0	0	0	26	0	0	317	20	22	359	0	0	0	0
5	3	0	0	1	1	0	2	7	5	0	3	0	2	427	15	2	13,315	3,563	579	17,457	2	0	1	8
6	0	0	1	1	1	2	2	7	0	0	2	1	2	6	3	2	90	201	208	499	0	0	3	12
合計	7	2	2	4	7	3	27	52	10	3	9	2	5	874	141	8	35,305	7,742	1,250	44,297	3	0	6	30

平成25年上半期月別救急出場件数（秩父広域）

月別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	合計
1	0	0	0	36	0	0	71	2	3	264	75	0	0	4	455
2	1	0	2	22	0	1	51	1	9	215	46	0	0	5	353
3	0	0	0	37	3	0	50	1	5	234	56	0	0	0	386
4	0	0	0	35	0	0	56	2	3	214	68	0	0	4	382
5	2	0	0	43	2	2	60	3	10	227	63	0	0	4	416
6	3	0	0	40	2	1	49	0	15	217	56	0	0	5	388
合計	6	0	2	213	7	4	337	9	45	1371	364	0	0	22	2380

平成25年上半期　市町別救助発生件数（秩父広域）

区分 / 市町別	発生件数	救助人員	程度別 死亡	重傷	中等症	軽傷	その他	事故種別 火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
秩父市	25	21	3	4	6	3	0	0	7	1	0	0	1	0	0	16
横瀬町	6	7	1	2	1	2	0	0	3	0	0	0	1	0	0	2
皆野町	6	4	1	2	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	2
長瀞町	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小鹿野町	13	10	4	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12
計	52	43	9	8	11	9	0	0	13	3	0	0	2	0	0	34

甲種防火管理新規講習会開催

去る６月18日（火）・19日（水）の２日間にわたり秩父消防本部において、甲種防火管理新規講習会が実施されました。本年も受講希望者が多く71名の方が受講され、資格を取得しました。
※来年度も６月中に開催する予定です。詳しくは、予防課までご連絡ください。（TEL：21-0121）

甲種防火管理再講習について

消防法施行令別表第１に定める特定用途防火対象物【同令別表第１（16の３）項を除く】で収容人員が300人以上の防火管理者は、５年ごとに再講習が義務付けられ平成18年４月１日から施行されています。
※平成26年２月中に、甲種防火管理再講習を秩父消防本部にて開催予定です。
詳しくは、予防課までご連絡ください。（TEL：21-0121）

お知らせ　information

危険物取扱者試験準備講習会

期別	種類	講　習　日	会　場	受付期間
３期	甲種	平成26年１月18日（土）19日（日）	上尾市文化センター	秩父消防本部へお問い合わせください
14期	乙種4類	平成26年２月１日（土）２日（日）	朝霞市産業文化センター	
15期	乙種4類	２月８日（土）９日（日）	キララ上柴（深谷市）	

※日程・試験会場は変更となる場合があります。

受講料　甲種　会員　6,700円　非会員7,700円
乙種第４類　会員　5,700円　非会員6,700円

テキスト代　危険物必携（法令編）1,300円　危険物必携（実務編）1,300円
乙種第４類例題集　1,400円

危険物取扱者試験

回数	試験日	試験会場	願書受付期間（書面申請）
第５回	12月８日（日）	芝浦工業大学（さいたま市）	11月５日（火）～11月15日（金）
第６回	12月15日（日）	東京国際大学（川越市）	
第７回	平成26年２月23日（日）	東京国際大学（川越市）	平成26年１月14日（火）～１月24日（金）
第８回	３月２日（日）	埼玉工業大学（深谷市）	

※日程・試験会場は変更となる場合があります。

消防設備士試験

回数	試験日	試験会場	願書受付期間（書面申請）
第２回	平成26年２月９日（日）	獨協大学（草加市）	12月24日（火）～平成26年１月８日（水）

※日程・試験会場は変更となる場合があります。

印刷／株式会社 井上活版